

事務事業名		市道猪尾線道路改良事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課		
総 計 画 体 系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	道路改良G	課長名	渡部克彦		
	施策名	(12)道路の整備		担当者名	板持大悟	電話番号	0854-40-1063 (内線) 2473		
	目的 対 象	市民	意 図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。					
	基本事業名	(034)道路の新設・改良		予算科目	会計	款	大 事 業 名	市道道路整備事業	
目的 対 象	道路利用者	意 図	安全で便利に移動できる。				中 事 業 名	起債道路整備事業	
				0	1	4	0	0	3
				1	0	1	5	0	3

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H27 年度～ R元 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
本事業は加茂町猪尾地内の生活路線及び通学路であるが既存道路幅員(W=3.8m)が狭小であり、緊急車両の通行や歩行者との離合が困難であることから拡幅改良(W=6.5m)を行うものである。
延長 780m 幅員 6.5m

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)		R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)			
		・道路改良工事 ・舗装工事					
	② 活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)	
	ア 整備延長	m	780	180	500		
	イ 供用延長(累計)	m	100	280	780		
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	市道及び市道利用者	ア 整備計画延長	m	780	780	780	
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	道路利用者の利便性を高め、住民生活の向上を図る。	ア 整備率(供用延長/整備計画延長)	%	12.8	35.9	100.0	
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
過疎債 (H30繰越分)	財 源 内 訳	国庫支出金	千円			
工事費 6,262千円 計 6,262千円		県支出金	千円			
(R元分)	事 業 費	地方債	千円	98,400	10,800	25,700
工事費 19,078千円 事務費 500千円 計 19,578千円		その他	千円			
	人 件 費	一般財源	千円	67	0	140
		事業費計(A)	千円	98,467	10,800	25,840
	トータルコスト(A)+(B)	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	300	300	300
		人件費計(B)	千円	1,223	1,300	1,272
			千円	99,690	12,100	27,112

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
物価・人件費の上昇や消費税増税により、事業費が増加傾向にある。	設計時に線形や工法検討によるコスト削減を図り事業費の抑制に努めた。事業期間の延長により単年度事業費の削減を図った。	生活路線及び通学路であるため、歩道帯の確保を含め早期の全線完了が望まれている。

事務事業名	市道猪尾線道路改良事業	所属部	建設部	所属課	建設工務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	交通量や受益状況から道路規格を決定しているため、向上の余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input checked="" type="checkbox"/> 影響無	<input type="checkbox"/> 影響有		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
D 公平性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	令和元年度で完了したため
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		
⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	令和元年度で完了したため
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？正職員以外や外部委託ができないか？		理由	令和元年度で完了したため
<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正か？		理由	道路は不特定多数の市民が利用する施設であり、利用者を特定した受益負担は求められない。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 令和元年度で完了し、目標は達成した。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持低下		×			×	×
		コスト																		
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持低下		×																	
		×	×																	
令和元年度完了により廃止とする。 今後も適正な維持管理を実施し利用者の安全を図る必要がある。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																			